



No. 385

あおいんど



発行日：2021年6月30日

発行人：公益社団法人弘前青年会議所 弘前市大字東長町47-2
TEL：0172-34-4458 URL：https://hirosakijc.com/

(公社)弘前青年会議所 ～法人格提言事業～

本年、私たちは当会に最も適した法人格とは何か、その難題に正面から向き合っています。会として議論を尽くし、2012年に公益社団法人格へ移行後、様々な困難を乗り越えながら、地域の発展のため、そして会員の資質向上のために知恵を絞りながら公益法人としての活動を継続して参りました。しかし、時の流れとともに会として抱える課題は変化しました。2000年以降右肩下がりとなっている会員数の減少、それに伴う財務上の諸課題。とりわけ、公益事業比率50%の継続的な達成については、ここ数年来の大きな課題であり、例年知恵を絞って参りました。

そうしたなかで私たちはいま、ある矛盾を抱えています。それは、公益事業比率を達成することが私たちの最優先事項なのか、という矛盾であります。

誰のために何を成すのか、この考え方は当時も今も変わりありません。そのうえで今後も持続可能な組織

として地域社会の発展と会員の資質向上に寄与し続けていくために、私たちはどのような法人格であるべきなのか。全会員の英知を結集し、答えを導き出さなければならない時がきたのだと感じています。

本年3月例会では、本質を捉えた法人格の基礎を学ぶべく、当会の法人格移行の歴史と公益社団法人格、(非営利型)一般社団法人格の特徴について理解を深め、当会が現状抱える諸課題についても会員の認識を共有致しました。そして、先般開催した6月例会では、多くの会員がこの問題に能動的に取り組めるよう、ディベートの手法を用いて法人格移行の是非に関する討論を行うことで、更に問題の本質に迫ることができました。

すべての会員がこの難題に正面から向き合い、しっかりとした考えをもって答えを導き出せるよう、引き続き知恵を絞って参ります。

公益社団法人弘前青年会議所 2021年度 組織改革委員会 ロードマップ

ステップ①
問題意識の共有
(3月例会)

全会員の共通認識として、現状LOMが抱える課題点を共有するとともに、どのような解決策がとれるのか、各選択肢について学ぶことで、各法人格に関する理解を深めます。

ステップ②
異見の共有
(6月例会)

前回学んだ内容を踏まえて当LOMにとってどのような法人格であるべきなのかを討論します。双方の立場から討論に参加することで、各法人格のメリット・デメリットに関する理解をより深めます。

ステップ③
プロセスの共有
(9月例会)

実際に法人格を移行するためにはどのような手続きを経るのか、その実務的な内容やスケジュール感についての理解を深めるとともに、ここまでの学びを踏まえて法人格の変更が必要かどうかについてアンケート調査を実施します。

ステップ④
決断の刻
(臨時総会)

アンケート結果を踏まえて委員会としての提言を取り纏め、臨時総会で審議に諮ります。(法人格の変更が必要だと結論の場合には、新たな定款・諸規定に関する案も併せて上程します)

3月例会



6月例会



5月例会 ～津軽 剛情張大太鼓をもっと知ろう！～



皆さんこんにちは。わどなのまつり委員長の三上です。

わどなのまつり委員会では津軽剛情張大太鼓の魅力を伝えるとともに、津軽剛情張大太鼓の技術継承のためという背景から、5月23日（日）5月例会「津軽剛情張大太鼓をもっと知ろう！」を開催致しました。*感染拡大防止の為、オンライン開催

5月例会は2つの目的を掲げて開催致しました。1つ目は津軽剛情張大太鼓の起源について学び、周りの色々な人に津軽剛情張大太鼓の魅力を伝えること。2

つ目は、ねぶた合同運行時の各ポジション毎の役割と注意点を皆さんに知ってもらうことから、ねぶた合同運行時に各ポジションの未経験者が増えてくれることを目的として開催致しました。

昨今のコロナ禍の影響で、ねぶたの合同運行は中止となってしまいましたが、合同運行以外の方法で津軽剛情張大太鼓の魅力発信、津軽剛情張大太鼓の技術継承を検討しております。全力で突き進んで行く所存ですので、皆様のご協力を何卒宜しくお願い致します！

4月例会 ～ドローンが描く未来を学ぼう！～

4月7日（水）に4月例会「ドローンが描く未来を学ぼう！」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症対策として、当初の予定を変更しWEB会議アプリ「ZOOM」を活用したオンライン開催となりました。

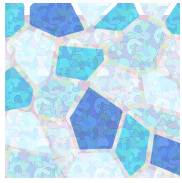
株式会社ムジコ・クリエイトの青森ドローンスクール様を講師にお招きし、最先端技術への興味や関心を深める機会を設けました。ドローンに関する基礎知識や活用事例の他、リアルタイムでのドローン視点の映像をWEB会議アプリの機能を活用し共有することで、より身近にドローン技術を体験することができました。

WEB開催となり、実際にドローン操縦を体験してもらうことは叶いませんでしたが、事後アンケートでは、会員の皆様の多くから、「言葉は知っていても詳しく学ぶ機会が無かったため、良い機会となった。」という声をいただき、今後の活用につながる例会となりました。

当会では引き続き、会員の資質向上の機会を提供してまいります。



創立70周年記念式典 記念祝賀会開催日決定



開催日 10月2日(土)
記念式典会場 弘前市民会館大ホール
記念祝賀会 フォルトーナ

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更となる可能性があります。ご了承ください。

創立70周年
テーマ

つなぐ

～想いを受け継ぎ、次代へつなげる～



創立70周年実行委員会での協議を経て、創立70周年記念式典及び記念祝賀会の開催日等を決定致しましたので、皆様にご報告致します。

創立70周年のテーマは「つなぐ ～想いを受け継ぎ、次代へつなげる～」とし、敬愛する諸先輩方が築いてこられたこの地域と想いを受け継ぎ、次代を担う仲間につなげていきたいという想い、受け継いだ想いを原動力として地域と次代を担う子どもたちを郷土愛でつなぎたいという想い、苗栗国際青年商會、一般社

団法人斜里青年会議所、太田市新田商会青年部、一般社団法人松本青年会議所、県内8LOMといった距離や世代を超えて培ってきた大切な絆を次代につないでいきたいという想いが込められています。

本年は、創立70周年記念式典、創立70周年記念誌の発行、長期ビジョンの策定を通して70年の歴史を改めて見つめ直し今後10年を見据える1年にしていきたいと思います。

2020年度卒業式 ～in 旧弘前偕行社～

去る3月26日、2020年度卒業式を挙行いたしました。本年度は10名の卒業生を送り出すこととなりました。本来であれば昨年12月に実施するところでありましたが、新型コロナウイルス感染症流行が収まらない状況を考慮した結果、本年3月に延期という形での実施となりました。同様の理由から会食のない式典のみものとなり、例年とは装いを大きく異にするものとなりましたが、会場である旧弘前偕行社の雰囲気も相まって、卒業式に相応しい厳かな式典となったと考えております。因みに、本年の記念品は長谷川正之先輩による記念写真となりました。今後の卒業生の活躍を感じさせる荘厳な仕上がりに、担当委員会としても感動しております。



旧弘前偕行社にて卒業生集合写真

新入会員紹介



わどなのまつり委員会
藤井 廉平
明治安田生命保険㈱



わどなのまつり委員会
鳴海 利彦
㈱スノウプル



絆MIRAI委員会
阿部 輔
㈱MATプランニング



3L委員会
葛西 真之
㈱樋川自動車



広聴創造委員会
清野 恵
㈱城北保険

JCプログラム「ディベート」、「プレゼンター」2days 開催 ～守破離実現の人材育成 資質向上会員研修～



弘前青年会議所は、5月12～13日において会員の資質向上を図るため会員研修を実施いたしました。1日目の「ディベートDE ナイト!」では会員の論理構築力・想像力・対応力を高め、様々な課題に対する自分なりの解を導き出す力を養うことを目的に、2日目の「プレゼンテーションを極めよう!」は地域を支える青年経済人として、相手の心を揺さぶる力を磨くことで、その行動に変化を促す力を養うことを目的に行いました。



**弘前青年会議所ではあなたの同世代が活躍しています。
仲間とともに郷土を盛り上げませんか？**

2021年度スカウト委員会は「70周年を70人」で迎えるべく、会員拡大活動を行っております。近年の会員減少傾向は、人口減少社会を反映してか特に顕著です。また、今回の新型コロナウイルス流行に伴う地域経済活動の停滞によって、状況はさらに厳しくなっております。しかし、このような厳しい時代だからこそ、かけがえない仲間との連携こそが事態を打破する近道であると信じています。寧ろ、今こそがJC運動を発信するべき時であると捉えて活動に邁進していく所存です。

ホームページはこちら



Facebookはこちら



Twitterはこちら

